

統合準備委員会だより

～ 令和3年4月の統合に向けて ～

創刊号

(第1号)

令和2年6月15日

発行

編集／大迫地域小学校統合準備委員会事務局（花巻市教育委員会教育企画課）

大迫地域の小学校（大迫小学校、内川目小学校、亀ヶ森小学校）の統合準備を行うため、4月24日に「大迫地域小学校統合準備委員会」が発足し、以後、各専門部会や準備委員会における話し合いが進められています。

この「統合準備委員会だより」は、令和3年4月の統合に向けた取組状況を、保護者や地域の皆様にお知らせするために発行するものです。

統合準備の話し合いがスタートしました。

第1回統合準備委員会を開催しました。【令和2年5月28日（木）】

5月28日午後6時30分から、大迫小学校体育館において、第1回統合準備委員会が開催されました。

準備委員会の会議は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、4月24日に予定していた「準備委員会設立総会」の開催を見送ったため、今回が初の全体会議となりました。

第1回目の準備委員会では、統合校の「校名・校歌・校章等」の協議のほか、5月21日、22日に開催された5つの専門部会の会議結果について報告があり、校名等は次のとおり決定しました。

次回、第2回準備委員会の開催は、7月頃を予定しています。

校名・校歌・校章は現在の大迫小学校のものを継承。体操着は統合までに新調します。

校名

「花巻市立大迫小学校」とします。

校歌

現在の「大迫小学校校歌」とします。

大迫小学校校歌

作詞 小田島孤舟
作曲 下総 皖一

一 東の空に そびえ立ち
朝日は匂う 早池峰の
山の麓に 屯たむろせる
美(うまし)郷(さと)こそ 大迫

二 峡間(はざま)を縫いて せかれつつ
夕日は(栄)はゆる 稗貫の
川の流(なが)れに 影映す
美(うまし)学舎 大迫

三 明治六年 春早く
世に魁(か)けて 打ち建てし
いらか気高き 学舎に
朝(あした)渡るや いろは橋

校章

現在の「大迫小学校校章」とします。



昭和17年6月5日制定
デザイン: 菊池健次郎教諭

- 1)「大」を5つ合わせて桜を図案化
- 2)中央に「迫」を図案化

校旗

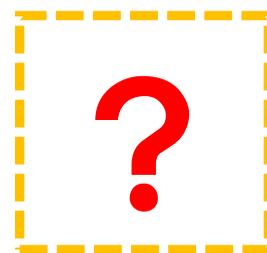
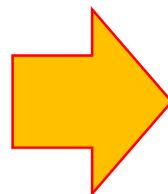
現在の「大迫小学校校旗」とします。



※「上履き」は、今までどおり自由です。

体操着

機能性向上と学校統合のシボルの位置付けから、来年4月に向けて、新たな体操着を検討します。



※ 現在各小学校で着用している体操着は、統合後も、卒業するまでの間は着用できます。

裏面もご覧ください。

準備委員会では、統合校の校章などに、次のような意見がありました。

校章について

▷例えば、中学校の校章はウスユキソウの上に「中」と書いている。そのマークの中を「小」にして、大迫のシンボル、早池峰ウスユキソウのもとで学んでいくというシンボリックな校章をつくることについて、協議をお願いしたい。

▷現在の大迫小学校の校章では何か都合が悪くて、変更なのか。現在の大迫小学校の校章が非常にベターと私自身は思うが何か不都合なことがあるのか。▷現在の大迫小学校には、玄関の上に、昭和29年からずっとこの校章があり、地域の方もOBの方もこの校章に馴染んでいる。校名も校舎も大迫小学校のままで、校章だけを変えるのは、不自然な感じがする。場合によっては近隣住民から何で変えるという不満が出ることも大いにあり得る。統合を推進していく上で、最も大事なはお互いの信頼関係を作っていくこと。今回の統合の準備の中で、お互いにしこりを感じるような部分を残すのは、非常に子供たちのためによくない。伝統あるものを変えられたことに反発を感じる方がいるのではないかとこの危惧を非常に感じている。よって、私は大迫小学校の校章のままでお願いできれば嬉しい。▷大迫小学校の立場で考えると、自分も校章は変えたくないという気持ちになると思う。この統合に今回踏み切ったのは、子供たちの教育環境を整えたいという思い。やはり協調性なくしては進んでいけない。期間と費用、そして気持ちが大事。1年にも満たない期間で早く決めるのは、拙速な考えかなと個人的に思う。▷今回の統合の前に、外川目の統合があり、外川目は大迫の形を全部、納得して入った。今回は一斉に閉校して統合する中学校のととき、また、東和小学校のとときは立場が違う。内川目もかつて小学校統合し、そのときもみんな同じ気持ちの中で統合した。自分の母校の校歌も校章もなくなって非常に寂しい思いをするのは十分わかるが、大迫小学校は校舎自体が存在し、ここに今までずっと子供たちも通っている。統合を機に校章も全部変わったとなったら、子供たちも非常に影響を受ける。お互いに物事は妥協が必要で、1番は子供たちに影響がないような統合の仕方。大人たちの寂しさではない。校舎が残る大迫小学校の子供たちは内川目小・亀ヶ森小の子供たちを温かく迎えると思うが、校章が変わることになれば、子供たちに非常にストレスをかけることを危惧される。結論として、大迫小学校の校章のままで残していただければ1番良いと思う。▷校章を変える提案は、新しく皆さんでつくり上げようという小学校を目指しての考え。協議したことに価値があったと思っている。現在の校章で進めてほしい。

校章以外

▷外川目小学校の裏に当時の3校統合の記念碑がある。統合10周年のときの記念碑のようだが、今回の統合時にそのようなものがあるのか、または3年後の大迫小学校150年なのか、統合10周年のときにも、何かそのようなものがあるかとも良いと思う。3年ぐらい前に大迫中学校の統合50周年式典があり、その中で旧内川目、亀ヶ森、外川目、大又中学校、それぞれの学校の校歌を、在校生が歌う機会があった。そのような歴史の残し方ができればいいと思う。⇒（宮川委員長）統合後の検討事項とする。

▷閉校した小学校には、子供たちも相当な思いがあると思い、学校周りを清掃してきたが、老人クラブの方々の高齢化も相当進んでいる。新聞を読むと、東和小学校の統合で廃校となった学校敷地で、草刈りをする人を募集していた。これが統合後の現状。今後は、閉校した学校をどうするか、もっと真剣に考えてもらいたい。

▷大迫の早池峰ライオンズクラブのメンバーとして、正月行事の定番、大迫郷土いろはかるた大会を43年続けてきたが、メンバーの高齢化と、若い人たちに負担が多いということでここ2、3年開催しないできている。この小学校統合を契機に、学校行事としてのかるた大会を進めてほしい。ライオンズクラブは今解散して、さいかちの会として任意の団体として活動しているが、事務局のあった商工会の倉庫に、かなりの量のかるたの在庫が見つかった。これは皆さんに使っていただきたく、町内の小学校、振興センター等に配ろうと企画していたが、統合小学校でその行事そのものを存続、継続していただければと思う。年間行事にも関係すると思うが、この大会を50回、60回と進めてほしいと考えている。⇒（事務局）学校行事の内容なので、このことは教育課程部会の中で検討していく。

各専門部会の協議も開始しています。

統合準備委員会には、統合に向けて調整を必要とする項目について検討するため、5つの専門部会を設置しています。各専門部会の第1回会議が5月21日（木）・22日（金）に、いずれも大迫小学校で開催され、この会議の内容について、第1回準備委員会において、次のとおり報告がありました。

| 部会名 | 学校経営 | 教育課程 | PTA | 地域連携・教育振興運動 | 管理・事務 |
|---------|-----------------------|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 主な協議事項 | 教育目標、校内運営組織、校内研究 | 教育課程、日課時程表、学校行事、児童会、生徒指導、交流学习等 | PTA運営組織、通学体制 | 地域との連携、教育振興運動 | 設備備品、学校施設 |
| 構成 | 各校長 | 各校教務主任、生徒指導主事 | 各校PTA役員等 | 地域、教育振興運動の代表者等 | 各校事務職員 |
| 第1回会議日時 | 5月22日（金） 15:30～ | 5月22日（金） 16:00～ | 5月21日（木） 19:00～ | 5月21日（木） 18:30～ | 5月22日（金） 16:10～ |
| 主な会議内容 | ①部会長等の選出 ②担当事務の確認等 | ①部会長等の選出 ②担当事務の確認等 | ①部会長等の選出 ②担当事務の確認等 | ①部会長等の選出 ②担当事務の確認等 | ①部会長等の選出 ②担当事務の確認等 |